新宮町立新宮東中学校　2学年通信

たかまり

2020（令和2）年11月25日（水）文責　阪東 千晶

人権平和映写会！
～「あん」鑑賞をとおして～

11月18日（水）の6時間めに、人権平和映写会に向けての事前学習を行いました。内容は、現在も猛威を振るっている新型コロナウィルス等の感染症に対する「差別」や「偏見」を、ハンセン病を教材として、一人一人が考えることでした。

授業の内容を一緒に考える中で、感染者が「治療薬が開発されている」「感染力は非常に弱く、ほぼうつらない」にも関わらず、長期間に渡り、隔離されたり、行動や生活の制限をされたりしたことを学習しました。

その後、21日（土）に「あん」の鑑賞をとおして、さらに深く考えることができていました。

【感想】

私は映画を観て「生きている意味」は、人それぞれ違うのだと思いました。「何かをしなければいけないから、生きているのではなく、生きているから、何でもできる」のだと、今を感謝する気持ちになりました。映画の中では、感染症の間違った情報が伝わり、差別されたり、生きることを制限されたりしていました。今の、コロナでは絶対に同じ過ちを繰り返さない！と強い気持ちをもちました。

生きていく意味がない！なんてことはないのだと、強く思いました。最後まで生きていく意味を探していくのが大切なのだと感じました。そして、さらに、今の自分の環境（コロナの中にいる自分）を嘆くのではなく、そこから始めよう！という「心」が大切で、必要だと思います。映画のように「排除」するのではなく、受け入れた上で、相手に接する、ともに考え、ともに生きていける自分でありたいと強く思いました。

映画を観て、「人には一人一人、生きている意味がある」そしてその「権利がある」と強く感じました。だから、例え、相手がどんなに強くても、権力をもっていても、誰かの「生きる意味や権利」を奪ってはならないと思います。

今、コロナウイルスでいろいろな悲しいことや「差別」と思えることがあるのも事実です。私はその「差別」に負けない強い「心」で、「生きていく意味」を見つけていきたいと思います。

「人は支え合って生きていくものだ」と思いました。治る病気とも知らずに誤った情報を信じている人間はおろかで、とても弱いものだと感じました。自分たちが情報に流される前に、生きるための意思が大切で、自分が必要とされていると思えること。これが「生きる意味」だと考えました。自分の「居場所」があることに感謝して生きていきたいです。

私は「生きていく意味」とは、「自分で考え、行動して、何かを残すこと」だと考えました。大きなものではなくても、誰かの心に少しでも何かを残せたなら、それが幸せだと思いました。徳江さんは、私と同じくらいの年から、外に出られず、自由な生活を奪われました。そのことを考えると、私はどんなに恵まれた環境で生きることができているのか。とても考えさせられました。私が「差別」に対してできることは「善悪を」しっかりと見極め、自分の「心」でしっかりと判断し、行動することです。それを忘れることなく、生活していきます。

行事予定

1日（火）　交通安全の日
3日（木）　いじめゼロサミット
23日（水）　掃除リーダー引き継ぎ式
25日（金）　終業式・退任式・認証式

【保護者の皆様へ】

平素より、本学年へのご理解・ご協力ありがとうございます。いよいよ、今年も残すところ一ヶ月あまりとなりました。来年のこの時期は、進路先決定の重要な「三者面談」が予定されております。21日にキャリアパスポート（成績表）をお渡ししております。学校でも、進路についての学習を取り入れて参ります。ぜひ、ご家庭でも進路等について、話題にあげていただきたいと思っております。なお、次の学力分析テストは2月5日を予定しております。

時節柄、保護者のみなさまも、くれぐれもご自愛なさいますようにと祈念いたします。